

6月

今日の一言

4. 6. 16 校長 瀧上 卓也



心を見つめる教育週間



思いやりの心を！！
4年生 高齢者体験学習より

来週は、「滑石っ子の心を見つめる教育週間」です。小中高、県内すべての学校で、様々な取組が行われます。本校においても道德の公開授業をはじめ、子どもたちの心に届く指導を行いたいと思っています。

さて、教育週間の目的には、こう記されています。「命を大切に、いじめのない学校づくりに向け、校内の指導体制の確立、家庭・地域・関係機関との連携強化等、すべての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となった取組を展開する。」つまり、「心優しい子どもたちを、滑石の大人みんなで寄って集って育てましょう。」ということです。

よく耳にするのが、「子育て」が「孤育て」になってきたということ。以前ならば、子育てに悩んだら、相談に乗ってくれたり力を貸してくれたりする存在がいました。我が町の子どもたちは、地域みんなで責任もって育てるぞ！！という機運もありました。ところが最近の孤立した「子育て」は、家庭における体罰だったり虐待だったり育児放棄だったり、最近ではヤングケアラーだったり・・・、様々な問題を引き起こしています。

せっかくの「心を見つめる教育週間」ですから、保護者の皆様にもお願い事を3つしますね。

- 「おはよう。」「行ってらっしゃい。」「お帰りなさい。」「ありがとう。」「・・・いつも以上に素敵な言葉のシャワーを子どもたちに浴びせてください。
- メディアをOFFにして、子どもの話をじっくり聞く時間を設けていただきたいです。
- 来校時には、会う滑石っ子一人一人に、「おはようございます。」「こんにちは。とあいさつをしていただくと嬉しいです。（返事がなくても、粘り強く根気強く！！瀧上スタンス）もちろん保護者同士でもぜひ。

大人の願いや思いを、家庭・地域・学校、具体的な行動で子どもたちに伝えたいと思います。力をお貸しください。

<今日の一句>

育てよう

うちの子 よその子

滑石の子 卓也

